

伝統工芸を活かした道の駅と移住・定住先進地を視察調査

総務建設委員会

2月6日から7日までの2日間、高知県の道の駅・土佐和紙工芸村「くらうど」と四万十町の移住・定住対策について視察調査を行いました。

道の駅・土佐和紙工芸村くらうど

当施設は、土佐の伝統工芸である手漉き和紙体験をはじめ、はた織体験、夏には施設の前を流れる仁淀ブルーと呼ばれる清流・仁淀川での川遊びやキャンプ、カヌーも体験できます。

施設内には、農産物の直販所や蔵を活用したギャラリーのほか、道の駅には珍しい薬湯風呂のクアハウスやホテル、コース料理を提供するレストラン等も併設されています。

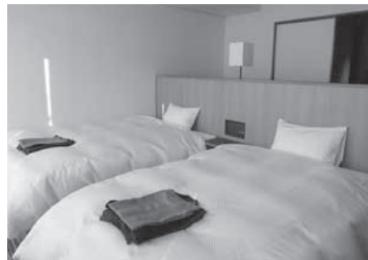
高知市内から30分という地理的条件にも恵まれていることから、現在は外国人観光客の誘致（インバウンド）と滞在時間の延伸、観光消費額の増加に取り組まれています。



上空から見た道の駅



手漉き和紙の体験実習館



ホテル内の客室

四万十町の移住・定住対策

人口約1万5千人の四万十町は、平成23年度から移住定住促進を町の重要施策として位置づけ、多彩な移住促進策と子育て支援、空き家活用事業、新規就農支援等の仕事づくりなど様々な施策を展開した結果、令和5年度までの13年間で移住者1,440人の実績を上げています。

宝島社が実施する『住みたい田舎ベストランキング』にも毎年上位にランクされています。



町の担当職員から詳しく説明を受けました



四万十町の移住定住ガイドブック



視察を終えて四万十町役場前で

今回の行政視察を踏まえ、本町が進める『筆の里工房周辺整備事業』と『移住・定住対策』について、今後の提案につなげたいと考えています。

広報コンクール最優秀賞受賞!



第42回広島県町村議会広報コンクールにおいて、くまの議会だより第129号（令和5年2月発刊）が写真部門で最優秀賞に選ばれました。



今後もみなさまのお手に取っていただけるよう、見やすい・分かりやすい議会だよりを目指し、広報委員一丸となって取り組んでまいります。



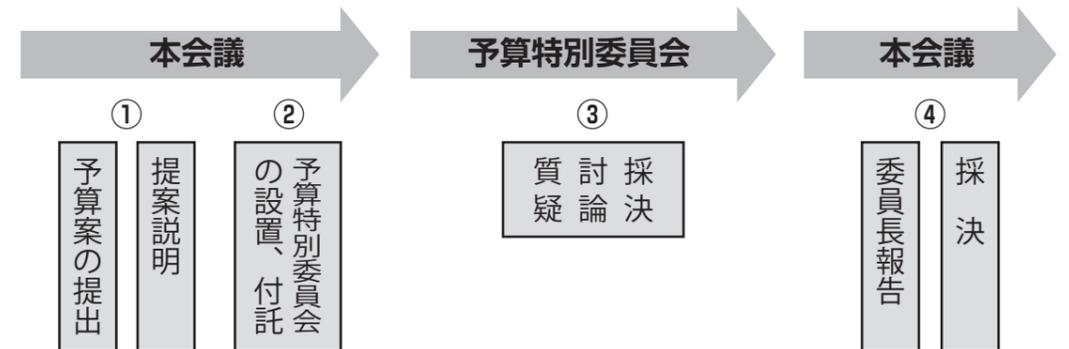
豆知識

「予算特別委員会」とは

議会では、町から提出された新年度予算案が町民の皆さまの意見を反映したものであるかなどを科目毎に詳細に審議するため、予算特別委員会を設置し慎重に審査を行います。

熊野町の予算審議の流れ

- ①議会に対し町長が予算案を提出し、本会議で提案説明をします。
- ②全議員をもって構成する予算特別委員会を設置し、予算案の審査を付託します。
- ③委員会では、二つの分科会（総務建設分科会、文教福祉分科会）を設置し、予算案や町が実施する事業内容について議員が質疑等を行い、より詳しく掘り下げたり、分科会としての討論を行い、採決します。
- ④予算特別委員会の委員長は、委員会審査の経過と結果を本会議で報告します。本会議で採決を行い、可決されれば予算が決まり執行されます。



※予算は議会の議決によって決められます。予算案を議会へ提案する権限は町長にありますが、議会で議決されない限り執行することができません。